

講座No.	講師名	講座テーマ	講座内容
英-1	河原 伸一 教授	英語+ α :英語でビジネスを学ぶ	英米語学科グローバルスタディーズ専攻(GSM)の授業を再現します。ビジネス翻訳や司法通訳など、高校・大学における英語学習の先にあるものについて、皆さんが考えることができる機会を提供します。将来のキャリアを視野に入れ、新しい世界を覗いてみませんか。
英-2	小谷 哲男 教授	アメリカ研究入門	国際社会で大きな影響力を持つアメリカを知ることは、実は自分の国を、さらには世界を知ることにつながる。アメリカの大統領はどのように選ばれるのか、そしてどのような権限を持つのか、などの疑問に答える中で、アメリカ研究のおもしろさを紹介する。
英-3	嶋田 珠巳 教授	たとえばこんな英語の話	イギリスの隣、アイルランドの英語はどんなふうでしょうか。世界で英語は今どのように話されているでしょう。アイルランドというフィールドのこと、言語と文化のこと、言語どうしの出会いのこと、学校で習っているのと同じではない文法を持つ英語のこと、世界に広がる英語のこと、時間の限りお話ししましょう。明日からみなさんの英語学習が楽しくなるかもしれません。
英-4	ケイコ・ナカムラ 教授	Is that English? ～日本語の中の変な英語	In everyday Japanese, there are many words and expressions borrowed and adapted from English. Some of these are 外来語, foreign loanwords borrowed from English, like ステーキ and ハンバーガー. Others are 和製英語, or Japanese words that seem like English, but are not used by native English speakers, such as クレーム and サイン. In addition, we have カタカナ英語, which often has a bad influence on English pronunciation, making English words sound Japanese. We will explore the linguistic boundary between Japanese and English to see what we can learn from the “English” that exists in Japanese.
英-5	川成 美香 准教授	英語のポライトネス	日本語には、尊敬語・謙譲語・丁寧語などの複雑な敬語表現がありますが、英語には無いといわれています。ところが敬語を、相手への気づかいやコミュニケーションを円滑に進めるための手段として広くとらえてみると、英語にも、敬語に相当するポライトネス・ストラテジーがあるのです。英語のポライトネスを知って、ワンランク上の英会話術を身につけましょう。
英-6		World Englishesになった英語	世界には3つの英語圏があります。英語を「母語」とする国々、「第2言語・公用語」として使う国々、「外国語」として学ぶ国々です。世界の英語話者の数は拡大し続けていて、その国の母語訛りで話す英語が容認されるようになり、World Englishesと呼ばれています。とくに母語でない者同士が話す英語のことを「リングフランカとしての英語(English as a Lingua Franca)」ということが多くなっています。

講座No.	講師名	講座テーマ	講座内容
英-7	中井 延美 准教授	言語学って何を研究するの？	言語学とはどのような学問なのでしょう。そこから得られた知識は私たちの生活にどのように役立つのでしょうか。この講座では、「ことばの科学」である言語学の視点からことばについて考える楽しさを紹介します。言語学は、人間の最も重要な特徴の一つである「ことば」を研究する分野です。ことばを科学的にみることは、母語を客観的に理解することにつながります。たとえば、「英語にも敬語はあるの?」とか、「『は』と『が』は英語ではどのように区別されるの?」など、ことばに関するさまざまな疑問について、なぜだろう?どんな仕組みがあるのだろうか?と考えることから始めましょう。
英-8	松井 順子 准教授	通訳・翻訳入門	国際化が進み、国際交流が政治的、経済的、文化的に幅広く行われるようになりました。国と国、多国籍企業、人と人との交流を円滑に進めるために通訳業が益々重要な役割を果たしています。さまざまなレベルの通訳がありますが、この講義ではまず通訳業全般を概観し、実際にどのような方法で学習すれば通訳技術を身につけることができるのかをご紹介します。
英-9	鍛治 広真 講師	調音音声学入門	日本語と英語の音声は同じではありませんが、日本語話者と英語話者の口の中は同じです。器官は共通なのだから(訓練さえすれば)外国語の音も発音できます。普段使わない音声を発音し分け、聞き分けるための重要な基盤である音声器官の構造と音を作り出す原理を学び、調音音声学の考え方に触れてみてください。
英-10	辰己 雄太 講師	英語から考える言語の不思議	日本語では「赤い私の車」と言えるのに、“red my car”は英語として文法的に間違っています(正しくは“my red car”)。これはなぜでしょうか?皆さんは、これまで英語の文法というものを、教科書に従って、ただ覚えてきたかもしれません。しかし、そもそも文法のようなルールは、なぜ存在するのでしょうか?この講座では、英語を他の言語と比較しながら、言語に潜む謎について、一緒に考えていきます。
英-11	横山 竜一郎 講師	英詩の遊び方	英詩(英語で書かれた詩)を読む講座です。詩は難しそうという印象を持っている人も多いと思います。それが英語で書かれているとなるとなおさらでしょう。しかし、詩とは言葉が遊んでいる場所である、と考えるとどうでしょうか? ふだんの生活において言葉というのは何かを示すという働きをしている、仕事をしているとすれば、詩のなかで言葉はそういった日常的な仕事から解放され、自由に遊び回っているといえます。 この講座では、日頃は教科書や問題集、日常会話といった散文の世界で英語と過ごすことの多い高校生の方に、いつもとは違う英語の姿を見てもらいます。遊んでいる英語を眺めたり、一緒に英語と遊んだりすると、いつもは付き合いづらいと思っていたあの言葉の意外な一面が見えて、けっこう面白いやつかも、と思えるものです。もしかすると親友になることすらあるかもしれません。そして、人間もそうであるように、言葉もまた遊びのなかでこそ本当の姿、最も楽しんでいる姿を見せるものです。ある言語の詩を読むというのは、その言語そのもののポテンシャルを感じることであります。その意味でこの講座は、英詩を通じて英語という言語の特徴を知るきっかけにもなることを目指しています。